

自然科学探究II 科学特別講義 第1回を行いました

日時 令和3年7月20日(火)

参加者 サイエンス・サーベイ・コース(SSC)2年生〔36回生〕

内容

SSC2年生〔36回生〕が、自然科学探究II「科学特別講義(第1回)」を行いました。テーマは「生態学という新しい学問 ～生物多様性と人間との関わり～」で、神戸大学 人間発達環境学研究科 矢井田友暉先生にご講演いただきました。



どこにいてもできる学問ではない

理系の学問の中で、生態学の発展がなぜ遅れたのか、いつ生まれたのかを教わりました。



生態学って何?

なぜそこに生息するのか、なぜそのような習性があるのか。「なぜ」と「観察」と「フィールドワーク」が大切な学問だと知りました。



日本の生物多様性の危機

人間にとって綺麗に見える景観も、圃場整備がなされ、本来、日本にはない植物が植えられてあったりするそうです。



植物の被食防衛

ヒラギの葉はシカの背の高さまでしかトゲを持っておらず、背が高くなり食害を受けられなくなると、トゲなくなるそうです。



環境DNAによる調査と解析

水中の排泄物からDNAを採取し、その水中生物の存在有無やおおよその生物量を把握する研究をされています。



大学生の一日

矢井田先生の一日のスケジュールを教えてくださいました。研究で最も大切なのは「考察」であり、「なぜ～しなかったのか」という視点が大事です。



質疑応答

かつて人間は、どうして生態系のバランスを崩してしまうような行動をとっていたのか、という質問も出ました。



まだまだ質疑応答

続々と手が上がります。生徒の質問に的確に、そして迅速に答えてくださいました。



生徒代表謝辞

学級委員長が謝辞を述べました。この講義で初めて知った多くのことだけでなく、研究の面白さ、大変さ、重要さを改めて感じました。